

近畿大学教養・外国語教育センター紀要

(一般教養編)

第10巻 第1号

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

Vol.10 No.1



2020

近畿大学教養・外国語教育センター

近畿大学
教養・外国語教育センター紀要
(一般教養編)

第10巻 第1号

2020

近畿大学教養・外国語教育センター

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

2 0 2 0

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第10巻 第1号 2020

目次

■ 原著論文

一塁への牽制の速い右投げ投手の特徴

田邊 智, 川端 浩一 1

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)
Vol.10 No.1

CONTENTS

Original investigations

Satoru Tanabe, Koichi Kawabata

Characteristics of right-handed pitchers with quick pickoff to first base

1

教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）の 投稿・編集・発行等に関する細則

教養・外国語教育センター「近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）」(以下「本紀要」という)の投稿・編集・発行等に関して、次のとおり定める。

1 紀要発行

- (1) 広報出版委員会（以下「本委員会」という）は、毎年度1回、「本紀要」を発行する。
- (2) 必要に応じ、「本紀要」の特集号、増刊号を編集し発行する。

2 原稿作成

- (1) 原稿作成は、各専門分野の慣例を尊重し、それに従うことを基本とする。
- (2) 投稿原稿は、ワープロソフトで作成するものとし、ページおよび行番号をつけるものとする。
- (3) 原稿は次の分量を目安とする。
 - ①和文の場合：A4判横書き、40字×30行の設定で、欧文抄録を除き、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
 - ②欧文の場合：A4判12ポイント30行の設定で、欧文抄録を除き、20枚程度、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
- (4) 図・表・写真の取り扱いは原則として次のとおりとする。
 - ①図・表・写真は必ず、A4判以内の大きさでそのまま印刷が可能な原稿とし、写真は白黒のものとする。
 - ②図・表・写真は、その大きさが刷り上がりと同様になるように作成する。
 - ③図・表・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に番号順に一括する。
 - ④図・表・写真の挿入箇所は、本文中にそれぞれの番号を明記する。
- (5) 注及び引用・参考文献の記載については、原則として次のとおりとする。
 - ①注には通し番号を付し、本文の該当箇所には、アラビア数字と片括弧をつける。
 - ②引用が、文全体にかかる場合、句読点などの後に、その指示をする。
 - ③引用文献は、本文最後に著者名のアルファベット順に一括する。
 - ④雑誌は、著者名（発行年）、タイトル、誌名、巻（号）ページとする。
 - ⑤単行本は、著者名（発行年）、書名（版数、ただし初版は略）、発行所、発行地、引用ページ（p. または pp.）の順に記載する。

⑥インターネットからの参考文献の記載については、使用ドキュメント名と著者名及び日付けを明記する。ホームページ、URL は著者名、ドキュメント名の後にあげる。

(6) すべての原稿には表題、著者名、所属の欧文を添付し、原著論文には、200 語以内の欧文抄録を添付する。

3 投稿原稿

(1) 投稿原稿は以下の種類と内容で、未発表のものに限る。

①総説

②原著論文

③研究資料

④実践・事例報告

⑤研究・教育上の問題提起

⑥その他（特集記事、新資料の紹介や書評、シンポジウム報告など）

(2) 投稿者（筆頭著者）は、本学教養教育担当専任教員、同専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員及び本委員会で投稿を認められた者とする。

(3) 投稿原稿は、原本に 2 部の複写を添付して、本委員会が指定する期限までに、本委員に直接提出しなければならない。原稿は、プリントアウトした原稿 3 部とともに、電子メールに添付して提出する。その際、パソコン OS の種類及び、ソフト名を明記する。

(4) 著者が投稿原稿を委員に提出した日を、「原稿受付日」とし、掲載決定日を「原稿受理日」とする。

4 採否決定

(1) 編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿の採否を審議する。

(2) 編集委員会は、必要に応じ著者に対して原稿の訂正、修正、加筆等を求めたうえで、原稿の採否を決定する。

(3) 採択を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

5 著作権

「本紀要」に掲載された論文等の著作権は、近畿大学全学共通教育機構「教養・外国語教育センター」に帰属するものとする。

6 校正

- (1) 著者が行う校正は、原則として第2校までとする。
- (2) 校正の期間は、初校、2校とも1週間以内とする。期間に間に合わない場合は、原則として、その原稿は、次号回しとする。
- (3) 校正の段階での著しい訂正、修正、加筆等は禁止する。校正の段階で、大幅な訂正、修正、加筆等が必要になった場合は、その原稿は次号以降、再度、採否を審議、審査する。

7 公開・管理

- (1) 本委員会は、作成された紀要の電子ファイルを「近畿大学学術情報リポジトリ」において公開する。
- (2) 他大学等から送付されてきた紀要類は、本委員会が管理する。

附 則

この細則の改正は、広報出版委員会において行う。

この細則は、平成29年5月21日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

田邊 智	近畿大学経営学部
川端 浩一	和歌山県立医科大学みらい医療推進センター

編集委員会（五十音順）

佐川 和則（委員長）	経営学部教授
田邊 智	経営学部教授
西田 順一	経営学部准教授

編集後記

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）第10巻第1号をお届けします。

2019年12月23日にスポーツ庁が発表した「全国体力運動能力運動習慣等調査」の結果によると、ここ数年伸びていた子供の体力が低下したという。中でも小学生男子の体力は過去最低となった。その原因として、スマートフォン、ゲーム、テレビなどの視聴時間（スクリーンタイム）が増加しことがあげられている。スクリーンタイムと体力の合計点とには負の相関関係があることをその根拠としている。

スクリーンをインターフェイスとする情報の収集は、視覚が占める全情報収集量に対する割合の大きさを考えれば安易に制限することはできないだろう。それとも Society5.0 の時代には、スクリーンに代わるインターフェイスが登場するのだろうか。

本篇に掲載されている田邊氏と川端氏による論文は、野球の投手による牽制動作についてそのコツを明らかにしている。人の動作は視覚からの情報のほかにも体性感覚的情報をその成功のよりどころとしている点が、ゲーム画面内の物体を動かす場合と決定的に異なる点である。子供の体力の低下は、同時に体性感覚の機能低下も生じさせているのではと心配になる。

本紀要は、2回続けての掲載論文1編にとどまったことは大変残念である。次号ではより多くの投稿を期待したい。

（佐川和則）

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第10巻 第1号 2020年

令和2年3月20日 印刷

令和2年3月31日 発行

発行人 戸井田 克己

発行所 近畿大学全学共通教育機構
教養・外国語教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 近畿大学 管理部 用度課（出版印刷）

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

ISSN 2185-7032

